

## 令和3年1月 報道機関との定例懇談会 要旨

### □ 情報提供項目

新型コロナウイルス感染症の対応状況、店舗等の家賃に対する支援、第27回久慈市郷土芸能祭、いわて山形村短角牛でナイト in 八戸、演劇公演「岬のマヨイガ」などについて市長から報道機関にお知らせしました。

### □ 記者との質疑応答

記者： 新年の抱負を伺いたい。

市： 去年はほぼ1年、行事が実施できなかった。今年こそ、くじ秋まつりを実施したい。そのためには、早い時期にワクチンが接種できるようになり、日本全体でコロナが収束することが不可欠である。

積水化学工業のプラント建設工事がいよいよ始まる。三陸沿岸道路の全線開通も間近であり、広域道の駅開設に向けての進捗も順調に進んでいる。

洋上風力発電は、詳細な調査を進めて、国に対して適地として立候補したい。

ティラノサウルスの化石発掘も進めてまいりたい。明るい話題もたくさんあるが、先が見えない状況である。

市内でのコロナ感染が落ち着いているのは、市民の皆さんが対策をしっかりと行っていることによるもの。これを続けていき、市民だけでも対象にイベントを実施したい。

できるだけ早く、市民の皆さんがワクチン接種を受けられるようにしたい。そのために全庁挙げて体制を整えていく。

記者： 来る7日にも緊急事態宣言が発出される見込み。GoTo トラベルの再開も難しいと思うが、どのように受け止めているか。

市： 今回の緊急事態宣言は、1都3県で東京中心に発出されるものであり、こちらはこれまでと同じ体制をとっていく。これまでも積極的な観光PRは控えているところであり、継続する。今後、東京出張も予定しているが、宣言が出ると見合わせることになる。必要な仕事ができなくなるが、皆が同じ状況であり我慢が必要である。